



おひいすらん



4月12日15時頃、日本化学館付近が異臭に覆われました。消防車やパトカーが駆けつけ、避難命令が館内に響きわたりました。慌てて荷物をまとめ外に出ると、道路は避難した人であふれ、一種異様な雰囲気が立ち込めていました。約3時間後、避難命令は解除されましたが、原因は特定されず、いまだ真相は闇に葬られたままです。

実のところ私は避難する前からガスのような臭いに気づいていたのですが、だからといってどうするわけでもなく、それをネタに同僚と談笑する有様でした。

— . . . —

「情報」という単語は「情」という漢字が使われています。そこに「報」と「情」の深い関係を見て取ることができます。先の異臭騒ぎにしても、私の中で「報」と「情」の連携がうまくいっていれば、先を見通した適切な行動をとることができたかもしれません。無害な異臭だったからよかったものの、もし毒性を持っていたなら、私は自分の愚かさを一生悔やんでいたことでしょう。

たとえ有益な「報」を手に入れたとしても、それを受け入れて活かす「情」が錆ついていたら、せっかくの「報」も活かすことができずに終わってしまいます。

「情」を鍛え、磨くこと。そこに情報社会を実り豊かに生きるための鍵があるかもしれない、そんな風に感じた出来事でした。

(町田善江／会誌編集部門)



当日の化学会館付近の様子

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご感想・ご意見を紹介します。まず、特集「社会に向き合うエージェントシステム」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「Webの進化とエージェント、セマンティック Web」の記事が気に入りました。Tim Berners-Lee の提唱する「未来の Web」の実現にはまだ至っていませんが、知識共有を行うセマンティック Web への期待は大きく、今後の動向が気になるところです。

(吉田慶章)

■「インターネットオークションとメカニズムデザイン」の記事に興味深く拝読しました。入札に関するさまざまな問題点とそれに対する解決策、特にビックレー入札や組合せ入札などの解決策は大変面白いと思いました。まだ多く課題があるようで、学問的にも面白く実用面でも価値のあるこの分野の発展を期待しています。

(匿名希望)

■「RoboCupSoccer と RoboCupRescue」の「問題設定の変更を行っていないため、問題としてのリッチさが保たれた」という部分と、「RoboCup のようにある特定の題材を寄ってたかって探求するという活動はバラバラに研究開発を進めるよりは有効な手段であろう」という点に共感しました。また、パネル討論での「エージェントによる社会シミュレーションは、世の中に先立って『大事件を気づかせる機能』を持っている」という視点はとても新鮮でした。

(岩本茂子)

■「ユビキタス環境で活躍するエージェント」は、実際に私たちも同様の研究に取り組んでいるところですので、大いに参考になりました。

(菊地 誠)

■図が多く読みやすい記事が多かった。パネル討論では、論文とは違いそれぞれの分野における第一人者である研究者の見解の違いが分かり新鮮だった。なかでも私はこのところ知識の共有化について深く問題意識を持っていたが、石田先生が p.282 あたりで発言されていることをはじめとして、本座談会は考えるヒントを与えてくれた。また、機械翻訳の開発に携わる者にとって「...国際活動をしている現場でちゃんと辞書を作ると機械翻訳が使えるようになるんです」という先生の発言には非常に勇気づけられた。欲をいえば参考文献があるとよかったと思う。

(匿名希望)

■「社会に向き合うエージェントシステム」という特集は羊頭狗肉である。複数の執筆者が指摘している通り、エージェントは社会の役に立っていないからである。エージェントを、社会とは没交渉なテーマとして（それはそれで意義がある）研究しているのか、本気で社会に普及させることを意図しているのか、この点に正直

になる必要がある。

(匿名希望)

■エージェントは面白い技術だと思うが、無料でかつ簡単に使えるようなインタフェースでないと普及しないと思う。普及してしまえば、いろいろと可能性があると思うので、普及に関する追加エピソードなどがあればよいと思う。

(匿名希望)

■エージェントシステムの最前線を知るために、興味深く読んだ。いろいろな分野への適用が理解できてよかったが、逆に「エージェントとは何か」が見えにくくなった気もする。たとえば、あらかじめ定義されたルールに則って株価の変動を監視し自動売買するソフトは、エージェントと呼べるのか。自律処理や知識獲得といった機能を持つエージェントは、どこまで実装、実現されつつあるのか。特集全体、あるいは個々の記事において、筆者によるエージェントの定義を明記すべきと考える。

(匿名希望)

■本特集は、ソフトウェアの実用化の指針として興味深い内容でした。特に「ユビキタス環境で活躍するエージェント」は、無線センサネットワーク等のインフラの進歩によって現実社会と電腦社会が密接になった上での、進化するエージェントの可能性と人間との共生という課題を提供していただいた気がします。(結城俊治)

連載「これからの情報処理学会 社会に存在感ある学会として一幅広い立場からの情報教育支援を」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■自分が加入している学会を振り返ると、情報社会学会、経営情報学会...と、情報に関する社会科学視点の学会の存在に気づく。これらの学会との合同ワークショップなど、連携が深まっていけばよいと思った。

(折田明子)

■情報系学科を担当している大学の一教員として、情報系学部学科への進学希望者が減少していることに危機感を覚えています。企業の方も、人材育成の重要性を力説されていました。産官学とも問題意識を共有している今こそ、問題を徹底的に分析し、あるべき方策について検討する総特集の企画を期待します。(匿名希望)

■理科離れ、工学部離れが話題になる中で、学会としての情報教育支援要請には、改めて考えさせられるものがありました。(匿名希望)

■情報社会の将来を担っていくべき人材の確保・育成は重要なことなので、貴学会が積極的にサポートされ、貴学会の存在感を発揮されることを望む。

(匿名希望)

コラム「オープンソース事情 自由ソフトウェア活動が続ける」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■大変参考になりました。と同時に、OSS にきわめて強い関心を寄せる学生と共通の話題を作ることもでき、とても感謝しています。教育、とりわけ JABEE 認定プログラムにおいては、教師からの一方的な知識の伝達ではなく、学生とのディスカッションが重要であることは論を俟ちません。しかしながら、学生と情報学についての話題を共有することは、なかなか難しいのが現状です。今回の OSS の連載を通じて、学生との話題の共有が可能となりました。OSS 以外の領域においても、話題の共有に努めていきたいと思っています。

(水野光朗)

■よかった。本来、OSS はラジカルな思想であることを思い出し、

胸が熱くなった。

(根津芳香)

■産業界の主流（情報処理学会の主流）にはなれないであろう立場と感じていますが、個人的にはもっと広がってほしい立場でありました。

(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コラム「標準化よもやま話『情報技術分野の標準の Web での無償公開』」について：規格の販売収入に頼る ISO、IEC のビジネスモデルはもう時代遅れである。著者が述べているように、このビジネスモデルを変えないと、「使ってもらえる」規格ができないのではと感じる。

(匿名希望)

■コラム「研究会千夜一夜『コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 研究会』」について：CVIM 研究会が企画されているようなコンピュータビジョンのチュートリアルを会誌でも連載企画として取り上げて欲しいと思います。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■人間とシステムの共生という観点から、応用例も報告され始めている、たとえば、脳活動を無線センサネットワークを通じてシステム（コンピュータ）に伝え、ロボット（エージェント）制御に応用する等の脳科学（神経生理学、心理学）と IT 技術の連携についての特集を希望します。

(結城俊治)

■最近、暗号の学会で話題の「ハッシュ関数」について記事をお願いしたい。

(匿名希望)

■情報関係の年間学会リストと発表・投稿の日にちと締め切りを記したリストが雑誌の最後につけてあると、発表・投稿等の意識

が常に確認できて便利な情報処理マガジンになると思います。

(矢野陽子)

■本号を読み、10 年前に聞き、いったん幻滅期？に入ったエージェント技術に徐々にではあるがまた光があたりつつあるのは非常に面白い現象だと思いました。自分たちは気がつかない間に社会的な大きな変化を経験しているのだと、改めて思ったからです。Web2.0 や SOA など単独の研究や技術はこれまでもいろいろ紹介されてきましたが、社会を変えていくのはその複合、インテグレーションが効果を持ったときだと思います。その意味で情報処理技術が横串で社会変革をもたらすような特集がほしいです。

(匿名希望)

■毎号の特集記事で、実用化されている技術や実践的な研究成果、実例などが分かりやすく紹介されているので、自分の専門とは異なる分野でも興味を持って読むことができ感謝しております。

(匿名希望)

■今後読んでみたい企画として、実証実験のその後を知りたいです。総務省や、経済産業省などで公募が採択され、産官学で行ったさまざまな実証実験で行われたプロジェクトや、開発された製品がその後どうなったのかを知りたいです。うまいか、立ち切れになったプロジェクトについては、その理由を知りたいです。研究者の方も興味があると思いますが、参加する企業も大いに興味があります。また、不幸な結果を出さないためにも、検証しておく必要があります。

(伊藤かほる)

■暗号技術の最新状況について、むずかしい式を使わずに分かりやすく紹介してもらえるとありがたいです。

(黒田幸明)

■現在各ベンダによってさまざまな開発手法が提示されているが、それらの比較検討を行う企画がほしい。

(浜口弘志)

【本欄担当 佐藤浩史、天野朋樹／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4806.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「イノベーションプロセスのスタディ」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-H.html	6月30日(土)		
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-K.html	9月1日(土)		
	論文誌「ディペンダブル情報処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-P.html	9月28日(金)		
6月15日(金)	第29回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ITS29.html	4月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
6月22日(金)	第18回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/GI18.html	4月30日(月)	当日のみ	県立広島大学広島 キャンパス
6月22日(金)	第21回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA21.html	5月9日(水)	当日のみ	日立製作所 システム開発研究所
6月23日(土)～ 6月24日(日)	Visual Computing/グラフィクスとCAD 合同シンポジウム 2007 http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/vc2007/	3月12日(月)		大阪工業大学情報科学部 (枚方キャンパス)
6月25日(月)	第65回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MP565.html	2月21日(水)	当日のみ	Monte Carlo Resort
7月2日(月)～ 7月4日(水)	第143回データベースシステム研究発表会 (DBWS2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS143.html	5月15日(火)	当日のみ	秋保温泉 ホテルニュー 水戸屋
7月3日(火)	第113回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL113.html	5月3日(木)	当日のみ	京都大学学術情報メデ ィアセンター
7月3日(火)～ 7月4日(水)	第148回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ICS148.html	5月18日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
7月4日(水)～ 7月6日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2007) シンポジウム http://www.dicomo.org/2007/	3月9日(金)	6月4日(月)	三重県鳥羽 戸田屋
7月6日(金)～ 7月7日(土)	第124回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HCI124.html	5月18日(金)		マリンヒルホテル小樽
7月7日(土)	第90回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE90.html	5月21日(月)	当日のみ	獨協大学
7月9日(月)	第127回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CG127.html	4月27日(金)	当日のみ	筑波大学総合研究棟 B棟1F
7月10日(火)	東海支部講演会「Webコンテンツの高度利用 －アノテーションとトランスコーディング－」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料	名古屋大学 IB電子情報館
7月12日(木)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第2回 ビジネスと生活を結ぶセキュリティ http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第15回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/UBI15.html		当日のみ	東京電機大学 (神田キャンパス)
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第46回分散システム/インターネット運用技術・第24回 高品質インターネット合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DSM46QAI24.html	5月18日(金)	当日のみ	京都女子大学
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第38回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC38.html	5月18日(金)	当日のみ	公立はこだて未来大学
7月19日(木)～ 7月20日(金)	第57回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AVM57.html	5月21日(月)	当日のみ	新潟大学五十嵐キャン パス
7月20日(金)～ 7月21日(土)	第67回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP67.html	5月14日(月)	6月下旬	宮城県 秋保温泉
7月24日(火)～ 7月25日(水)	第180回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL180.html	5月15日(火)	当日のみ	徳島大学
7月26日(木)～ 7月27日(金)	第62回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD62.html	5月20日(日)	当日のみ	公立はこだて未来大学
7月27日(金)	第75回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH75.html	5月28日(月)	当日のみ	神奈川工科大学 (神奈川県)
7月30日(月)～ 8月1日(水)	第10回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2007) http://miru2007.sys.wakayama-u.ac.jp/index.html	4月27日(金)	当日可	広島市立大学
8月1日(水)～ 8月3日(金)	2007年並列/分散/協調処理に関する「旭川」サマー・ ワークショップ (SWoPP 旭川2007) (発表募集: 4月17日(火) 10:00より4月27日(金) 17:00まで受付) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SWoPP2007.html	4月27日(金)	当日のみ	旭川市大雪クリスタル ホール旭川国際会議場
8月1日(水)～ 8月3日(金)	第71回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS71.html	6月1日(金)	当日のみ	ロワジールホテル長崎 (長崎市)
8月8日(水)～ 8月10日(金)	夏のプログラミング・シンポジウム (テーマ: First Promming Languages プログラミング言語の実力と美学) http://www.atdot.net/s-prosym2007/	5月31日(木)		信州戸倉上山田温泉 ホ テル 清風園
8月23日(木)	第101回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/IS101.html	6月8日(金)	当日のみ	日本情報システム・ ユーザー協会
8月23日(木)～ 8月24日(金)	平成19年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(金)		弘前大学理工学部
8月26日(日)～ 8月28日(火)	情報教育シンポジウム 2007 http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2007	5月28日(月)	当日可	三重県鈴鹿国定公園 希望荘
8月27日(月)～ 8月29日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2007 (SES2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-SES2007.html	5月13日(日)		日本科学未来館
8月29日(水)～ 8月30日(木)	DA シンポジウム 2007 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DA2007.html	5月7日(月)		遠鉄ホテルエンパイア
9月4日(火)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第3回 J-SOX 時代のデジタル・フォレンジック http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月5日（水）～ 9月7日（金）	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/			中京大学 豊田キャンパス
9月18日（火）～ 9月19日（水）	平成19年度電気関係学会九州支部連合大会 (投稿受付開始：6月1日より) http://www.jceee-kyushu.jp/ (6月1日公開)	7月17日（火）		琉球大学工学部 (千原キャンパス)
9月27日（木）	第76回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH76.html	6月29日（金）	8月下旬予定	東南技術学院（台湾、 台北）
9月27日（木）～ 9月28日（金）	平成19年度電気関係学会東海支部連合大会 (投稿受付開始：6月1日より) http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo/	7月27日（金）		信州大学 若里キャンパス
9月29日（土）	平成19年電気関係学会四国支部連合大会 http://sjciee.ymw.ne.jp	7月27日（金）		徳島大学工学部 常三島キャンパス
10月12日（金）	第72回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS72.html	8月6日（月）	当日のみ	ヤマハ（浜松市）
10月18日（木）～ 10月20日（土）	組込みシステムシンポジウム（ESS2007） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-ESS2007.html	7月2日（月）		日本科学未来館
10月19日（金）	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第4回 その後の個人情報保護 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
10月29日（月）～ 10月31日（水）	International Workshop on Security (IWSEC2007) http://www.iwsec.org/	4月13日（金）		奈良県新公会堂
11月9日（金）～ 11月11日（日）	第12回ゲームプログラミングワークショップ2007 http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp		定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月14日（水）	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第5回 バイオメトリックスの現状と今後 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
11月26日（月）～ 11月29日（木）	2007 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2007) http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ucs2007/			東京（秋葉原）
12月5日（水）～ 12月7日（金）	APSEC2007 14th Asia-Pacific Software Engineering Conference http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/			名古屋
12月14日（金）	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第6回 次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
2008年				
3月13日（木）～ 3月15日（土）	第70回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html			筑波大学
6月11日（水）～ 6月13日（金）	The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008) http://www.icmu.org/icmu2008/			東京（秋葉原）
7月28日（月）～ 8月1日（金）	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet			フィンランド

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報（5月）更新しました
- 5月14日 普通教科「情報」必修修維持ならびに教科内容充実の要請書

[学会からのお知らせ]

- 5月14日 論文誌（ジャーナル）の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、（所属）、専門分野、（担当科目）、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申 込 先：情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■神奈川工科大学情報学部情報メディア学科

募集人員 助教（任期制）2名（下記a、b各1名）
専門分野 (a)情報処理 (b)メディアコンテンツ
担当科目 (a)情報メディア基礎演習、情報メディア演習（Web系）、C言語など
(b)情報メディア基礎演習、情報メディア演習、情報メディアリテラシなど
応募資格 (a)情報処理教育に熱意がある方、着任時年齢27～35歳程度、博士号取得者または取得見込みであることが望ましい
(b)情報メディア学科におけるメディアコンテンツ教育に熱意がある方、着任時年齢26～35歳程度、修士号取得者または同等の業績があることが望ましい
着任時期 平成19年10月1日 またはそれ以降のできるだけ早い時期（この場合、着任可能時期を明記してください）
提出書類 (a)履歴書・教育研究業績リスト・その他特記事項（学会活動、社会活動、経験業務内容など）*、主要論文別刷（3編以内）、教育および研究に対する抱負を各1000字程度、推薦書（または所見を求め得る方1名以上の氏名と連絡先）
(b)履歴書・教育研究作品業績リスト・その他特記事項（学会活動、社会活動、経験業務内容など）*、主な作品または主要論文別刷（3編以内、作品は作品紹介でも可）、教育および研究に対する抱負を各1000字程度、推薦書（または所見を求め得る方1名以上の氏名と連絡先） ※については書式自由ですが、採用の場合には所定書式のものを用意していただきます
応募締切 平成19年7月7日（必着）
送 付 先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付
(a)情報メディア学科情報処理系教員選考委員長 「情報メディア学科情報処理系教員応募」と朱書き書留
(b)情報メディア学科コンテンツ系教員選考委員長 「情報メディア学科コンテンツ系教員応募」と朱書き書留
*同時に複数の教員公募が行われていますので、間違わないようにしてください。提出書類は原則として返却いたしません
照 会 先 (a)情報メディア学科 教授 速水治夫 E-mail:hayami@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3246
(b)情報メディア学科 教授 佐藤 尚 E-mail:sato@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3247
そ の 他 【任期】5年（ただし、再雇用または期間を定めない雇用への変更があり得る）

■大阪府立大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
所 属 電気・情報系専攻知能情報工学分野知能情報講座
専門分野 ブロードバンドネットワーク、ユビキタスネットワークなどを対象とした知的情報ネットワーク分野、ソフトウェアだけではなくハードウェアの経験も有する方が好ましい
担当科目 論理演算工学、情報回路、情報システム特論などの学部と大学院の科目、修士論文、博士論文の研究指導、および卒業研究の指導。
応募資格 次の条件をすべて満たす方。博士の学位を有し、大学院（博士後期課程）の担当が可能な方。平成20年4月1日現在の年齢が50歳以下であることが望ましい。学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しない方
着任時期 平成20年4月1日（予定）
提出書類 履歴書（大学の下記Webページに掲載している「工学研究科（様式1）」により作成）、研究業績など（大学の下記Webページに掲載している「工学研究科（様式2）」により作成。ただし、外部資金については、過去5年間のものを記入）、主な査読付き論文の別刷（5編、コピー可）、主な査読付き論文の概要（5編、各200～400字程度）、これまでの研究概要（2000字程度）、今後の教育と研究に関する抱負（2000字程度）、照会可能者2名の氏名・身分・所属と連絡先（電話、E-mailアドレスなど） *提出書類はA4判とし、各書類に氏名を記入
応募締切 平成19年7月20日（必着）
送 付 先 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 公立大学法人大阪府立大学総務部人事課 「工学研究科電気・情報系専攻知能情報工学分野応募書類在中」と朱書き書留 *原則として提出書類は返却いたしません
照 会 先 電気・情報系専攻知能情報工学分野 教授 黄瀬浩一（分野主任） E-mail:kise@cs.osakafu-u.ac.jp Tel(072)254-9276
Fax(072)257-1801
そ の 他 詳細はWebページ（http://www.osakafu-u.ac.jp/koubo/koubo_h19.html）をご覧ください

■九州大学情報基盤研究開発センター

募集人員 学術研究員（計算科学専門研究員） 3～5名程度
 専門分野 計算科学（地球環境、数値流体、連成解析、分子科学、線形計算など）
 応募資格 平成19年4月1日現在34歳未満の方で、博士の学位を取得している方が望ましい。スーパーコンピュータ環境を使って計算科学の経験を有する方。国籍は問わないが、本センターの利用者の相談に応じるだけの日本語能力を有すること
 職務内容 本センターの利用者への協力支援および本センターのスーパーコンピュータを使った共同研究の推進（特に、専門分野のエキスパートとしてのコンサルティング）
 着任時期 平成19年10月以降のできる限り早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要研究業績別刷（2編以内、コピー可）、これまでの研究概要（A4用紙1枚程度）、照会可能な方1名の氏名・連絡先・E-mailなど
 応募締切 平成19年7月25日（必着）
 送付先 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学情報基盤研究開発センター情報システム部情報基盤課庶務係 山本敏彦
 Tel(092)642-2303 「計算科学専門研究員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 情報基盤研究開発センター 准教授 南部伸孝 E-mail:nanbu@cc.kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-4029 Fax(092)642-3844
 その他 【選考方法】書類選考および面接
 【待遇】経歴に応じて「特任助教」あるいは「特任准教授」の称号を付与する
 【任期】3年間（再任なし）

■慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 大学院理工学研究科総合デザイン工学専攻（システム統合工学分野）

募集人員 准教授、専任講師、助教（有期）のいずれか 1名
 所属 助教（有期）の場合は単年度契約とし、双方の合意に基づき契約更新を行う。ただし、最長雇用期間は3年間までとする
 専門分野 システムデザイン工学科、総合デザイン工学専攻（システム統合工学分野）
 応募資格 「システム理論」または「高機能制御によるシステムエネルギー変換の理論と応用分野」
 「システム理論」または「高機能制御によるシステムエネルギー変換の理論と応用分野」（学部・大学院）に関する教育・研究能力があること。博士学位取得者または着任時取得見込み者であること。学科および大学の運営に積極的に貢献できること。学会活動など社会的活動に積極的に貢献できること。年齢は40歳程度以下が望ましい
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 履歴書（様式自由）、研究業績リスト、論文別刷（コピー可）、これまでの研究概要と着任後の抱負（1500字程度）
 応募締切 平成19年7月27日（必着）
 送付先／照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 主任 大西公平
 「教員応募（システム理論・エネルギー変換）書類在中」と朱書き書留 E-mail:ohnishi@sd.keio.ac.jp Tel(045)566-1726

■群馬大学大学院理工学研究科情報工学専攻

募集人員 (1)教授または准教授 1名 (2)准教授または助教 1名
 専門分野 (1), (2)とも、次のいずれかの分野
 (a)データベース、データ工学、コンテンツ技術 (b)ハードウェア一般、ハードウェアアルゴリズム、組み込みシステム
 応募資格 着任時に博士の学位を有し、教育・研究に熱意のある方。(2)については、情報工学実験のハードウェア課題を担当できる方
 着任時期 平成19年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、A4用紙1枚にまとめた業績の概要。応募する職種（教授、准教授、助教）を明記ください。連絡のため、履歴書中にE-mailアドレスを記入してください
 応募締切 平成19年7月31日（必着）
 送付先／照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学大学院理工学研究科情報工学専攻 専攻長 横尾英俊
 E-mail:chair@cs.gunma-u.ac.jp Tel(0277)30-1805 Fax(0277)30-1801 「教員応募書類在中」と朱書
 *メールによる問合せは受け付けますが、応募は必ず郵送でお願いします
 その他 【任期】(2)の助教については、任期5年で再任2回まで可能（合計15年間）
 Webページ (<http://www.cs.gunma-u.ac.jp/general/koubo.html>)を参照ください
 提出書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません

■（独）理化学研究所播磨研究所放射光科学総合研究センター

募集人員	研究員またはリサーチアソシエート 1名
所 属	構造生理学研究グループ三次元顕微鏡法研究チーム
職務内容	電子顕微鏡を用いてタンパク質やその複合体の構造解析を行っている研究室です。今回構造解析または科学技術計算プログラミングの専門家を1名募集します。電子線結晶学、トモグラフィー法による構造解析やそのためのソフトウェア開発を行っていただきます。十分な打合せを行う予定ですので電子顕微鏡法に関する予備知識は必須ではありません
応募資格	研究員の場合は博士号取得者（取得見込みでも可）あるいは同等の研究能力を有する方。リサーチアソシエートの場合は修士号取得者（取得見込みでも可）あるいは同等の研究能力を有する方。1つ以上のプログラミング言語およびGUIツールに習熟していることが望ましい
着任時期	採用決定後、できるだけ早い時期（応相談）
提出書類	履歴書、研究業績リスト（論文リスト、学会発表リストを含める）、これまでの研究概要と今後の研究に対する抱負（A4用紙1～2枚）、推薦書1通または応募者の研究能力を評価し得る方1～2名の氏名と連絡先
応募締切	平成19年7月31日
送付先／照会先	〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1 （独）理化学研究所播磨研究所放射光科学総合研究センター 構造生理学研究グループ三次元顕微鏡法研究チーム チームリーダー 平井照久 E-mail:thirai@spring8.or.jp Tel(0791)58-1825または(0791)58-2863
そ の 他	【待遇】年度契約の任期制職員で、評価により平成24年3月末まで更新可能。給与は、経験、能力、実績に応じた年俸制で、通勤手当、住宅手当の支給あり。社会保険の適用あり 応募書類は電子メールまたは郵送でお送りください。応募前の電子メールによる問合せも歓迎します 詳細はWeb ページ (http://www.harima.riken.go.jp/jpn/recruit.html) を参照ください

■武蔵工業大学環境情報学部情報メディア学科

募集人員	教授、准教授あるいは専任講師 1名（専任講師は任期付：5年）
専門分野	情報通信システム分野（インターネット、Webアプリケーションを含む）
担当科目	ネットワークとコミュニケーション技法、データベース、情報理論入門、プログラミングなど演習および関連する大学院講義など（予定）
応募資格	原則として採用時55歳未満。博士の学位を有すること、もしくはこれと同等以上の学識・経験があること。Webアプリケーション技術、情報流通サービス、インターネット応用技術、情報通信システムなどに関して研究業績を有すること。学部学生および大学院生の研究指導能力を有すること。環境情報学部の文理融合型教育研究活動に理解があり、学生の指導・教育に熱意があること
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書（市販のもので可。E-mailアドレス記載のこと）、研究業績リスト（著書、査読付き学術論文、国際会議論文、特許、その他に分類し、年代の新しいものから順に番号をつけること）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）あるいは主要著書、研究および教育業績の概要（A4用紙で各1枚程度）、所属学会および社会的活動状況（A4用紙で1枚程度）、着任した場合の教育・研究の計画と抱負（A4用紙で各1枚程度）、本人について照会可能な方（2名の氏名、連絡先、応募者との関係）
応募締切	平成19年8月23日（必着）
送 付 先	〒224-0015 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 武蔵工業大学環境情報学部情報メディア学科 事務室 Tel(045)910-2663 「教員公募書類（情報システム）在中」と朱書き簡易書留（宅配便も可） *応募書類は原則としてお返しいたしません
照 会 先	情報メディア学科 主任教授 奥平雅士 E-mail:okudaira-is@yc.musashi-tech.ac.jp
そ の 他	提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません なお、書類選考の後、面接、模擬講義も行っています

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	情報科学・工学分野
担当科目	当学科科目を構成する3領域(ソフトウェア, メカトロニクス, ヒューマンファクタ)のうち, ヒューマンファクタ領域(例:ヒューマンコンピュータインタラクション, 認知科学, CG, パターン認識, VR)の講義科目およびプログラミングを中心とする実験実習科目
応募資格	博士の学位を有し, 大学院・学部の学生に対する教育・研究指導に十分な能力と熱意のある方. 専門分野について優れた業績を有すること, キリスト教について十分な理解があること
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書(市販用紙使用, 連絡先にE-mailアドレスを含めること), 研究業績リスト(著書, 学会誌掲載の査読のある研究論文, 学会誌掲載の解説論文, 国際会議論文, 口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと, また外部資金獲得状況も含むこと), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの研究の概要(A4用紙2枚程度), 今後の研究計画(A4用紙2枚程度), 教育に対する抱負(A4用紙2枚程度), 本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先
応募締切	平成19年8月31日(必着)
送付先/照会先	〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科 主任 原田 実 E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6321 Fax(042)759-6495 「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
その他	書類選考の結果により面接(9月15日(土), 16日(日), 17日(月))などを予定)を実施します. 面接へ進まれる方への連絡はメールで行います

■国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員	准教授 1名
所 属	情報メディアシステム学専攻対話型システム学講座
専門分野	対話型システム一般, 画像情報処理(コンピュータグラフィクス, コンピュータビジョン), 音情報処理(音声認識, 音楽情報処理), 仮想/拡張現実感システム, モバイル/ウェアラブルシステム, 対話型アート/エンターテインメントシステムなど
応募資格	博士の学位を有すること, 着任時年齢が40歳未満であること
着任時期	平成20年1月1日(予定)
提出書類	履歴書(学歴, 職歴, 学会活動, 受賞歴などを含むこと), 研究業績リスト(著書, 学術論文誌論文, 国際学会論文, 研究会報告などに分類), ご自身で最も誇れると考える研究論文の概要, 専門分野に関連する主要な著書・学術論文別刷(コピー可), 研究概要および研究計画書(2000字程度, 上記の専門分野との関連を明示のこと), 研究・教育に関する理念・抱負など(1000字程度), 参考となる意見を伺える2名の方の氏名と連絡先
応募締切	平成19年8月31日(必着)
送 付 先	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科事務室 「対話型システム学講座准教授応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません. ただし, 著書については, あらかじめお申し出いただいた場合は返却いたします
照 会 先	情報メディアシステム学専攻対話型システム学講座 教授 小池英樹 E-mail:koike@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5651

■豊橋技術科学大学工学部情報工学系

募集人員	准教授または講師 1名
専門分野	計算機アーキテクチャおよび基本ソフトウェア分野(並列計算機, ハードウェア設計, OS, コンパイラ, プログラミング言語, 組み込みソフトウェア, ソフトウェア工学など)
応募資格	博士の学位を有し, 大学院での研究指導ができる方. 40歳未満が望ましい
着任時期	平成19年12月1日(相談に応じます)
提出書類	履歴書, 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議論文, 受賞, 特許などに分けて記載), 主要論文別刷(5編), 活動業績リスト(代表者としてかかわったプロジェクト, 科研費などの研究費獲得実績, 学会活動, などに分けて記載), 現在までの研究経過と今後の研究計画(A4用紙2枚), 教育に対する抱負(A4用紙1枚), 応募者について所見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成19年8月31日
送 付 先	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学工学部情報工学系・系長 田所嘉昭
照 会 先	情報工学系教授 中川聖一 E-mail:nakagawa@slp.ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6759
その他	詳細は, JREC-INもしくは大学Webページ(http://www.tut.ac.jp/intr/in01/in0108/koubo.htm)を参照ください

■新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科

募集人員	教授または准教授または講師 2名(担当科目A1名, B1名)
専門分野	コンピュータネットワーク, 人工知能・知識工学, ソフトウェア工学のいずれかの分野
担当科目	AまたはBの講義科目と, プログラミングにかかわる演習科目など A:「ネットワークコンピューティング」「コンピュータシステム」など B:「人工知能」「知識情報処理」など
応募資格	上記専門分野の研究・教育実績がある方, または企業などにおける調査・研究・開発などに優れた実務経験を有する方. プログラミング経験がありソフトウェア開発の指導ができること. 着任時63歳以下で, 採用後は本学の周辺に居住できる方
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書(様式任意, 1部), 教育研究・職務業績書(様式指定, 1部), 主要な著書・論文・寄稿などの現物(3点以上, 抜き刷りやコピー可), それぞれにつき要約(A4用紙横書, 日本語で300字程度)を添付すること, Aの2科目, あるいはBの2科目の講義概要各1部(各15回分, A4用紙横書で2000字程度), 学生教育に対する抱負(A4用紙横書で2000字程度, 1部), その他社会的な活動など参考になるとと思われる資料(1部), 上記提出書類返送用封筒(宛先明記のこと, 1通) A:「ネットワークコンピューティング」「コンピュータシステム」 B:「人工知能」「知識情報処理」
応募締切	平成19年8月31日(必着)
送付先	〒950-2292 新潟県新潟市西区みずき野3-1-1 新潟国際情報大学 情報文化学部長 榎木公一
照会先	総務課 E-mail:somu@nuis.ac.jp Tel(025)239-3111 (代表) Fax(025)239-3690
その他	【選考方法】第1次選考:書類審査 第2次選考:面接および模擬講義(第1次選考を通過した方のみ) 募集の詳細および提出書類の様式は大学のWebページ(http://www.nuis.ac.jp/)にある教員公募のページを参照ください

■愛知工科大学工学部情報メディア学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	コンピュータ関連・ソフト分野
応募資格	着任時に博士号を有する40～60歳程度の方で大学での教育に情熱を持っている方
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書, 業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議論文などに区分し, 各業績の概要を200字くらい記述する), 主要論文別刷(3編以上, コピー可), これまでの研究概要と今後の抱負(A4用紙で2枚程度), その他役立つ情報(学会活動, 社会貢献活動, 表彰など)
応募締切	平成19年9月30日(必着)
送付先	〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2 愛知工科大学工学部事務局 「情報メディア学科公募書類在中」と朱書き書留で郵送
照会先	情報メディア学科長 小塚一宏 E-mail:kozuka@aut.ac.jp Tel(0533)68-1135
その他	【選考方法】書類選考の上, 面接にて行う

■愛知工科大学工学部情報メディア学科

募集人員	准教授または講師 1名
専門分野	情報メディア系分野
応募資格	着任時に博士号を有する30～50歳程度の方で大学での教育に情熱を持っている方
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書, 業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議論文などに区分し, 各業績の概要を200字くらい記述する), 主要論文別刷(3編以上, コピー可), これまでの研究概要と今後の抱負(A4用紙で2枚程度), その他役立つ情報(学会活動, 社会貢献活動, 表彰など)
応募締切	平成19年9月30日(必着)
送付先	〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2 愛知工科大学工学部事務局 「情報メディア学科公募書類在中」と朱書き書留で郵送
照会先	情報メディア学科長 小塚一宏 E-mail:kozuka@aut.ac.jp Tel(0533)68-1135
その他	【選考方法】書類選考の上, 面接にて行う

FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム 聴講参加事前予約並びに講演論文集販売のご案内

FIT2007 ホームページ: <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/>

情報処理学会と電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）とは2002年から合同で毎年秋季にFIT（Forum on Information Technology）を開催しており、2007年9月には第6回目を中京大学豊田キャンパスで開催致します。

つきましては、聴講参加事前予約並びに講演論文集、CD-ROM販売の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、CD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2007年9月5日（水）～7日（金）
会 場：中京大学豊田キャンパス（愛知県豊田市貝津町床立101）
交 通：名鉄豊田線 浄水駅下車 スクールバス9分
※お車での御来場は御遠慮下さい。
アクセス<http://www.chukyo-u.ac.jp/koho/gaiyo/map/kotu.html>

■開催イベント企画【予定】

（詳細は逐次FIT2007ホームページでお知らせ致します）
今回のFITでは以下をテーマに講演会、パネル討論等のイベント企画を開催予定です。

- ・船井業績賞特別講演
- ・船井業績賞記念パネル討論
- ・FIT2007論文賞セッション
- ・FIT学術賞表彰式

【研究会企画】

- ・良い論文を書くためには、伝わる日本語文章を書くためには
- ・eポートフォリオによる新たな教育・学習環境の構築と実践
- ・パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
- ・ここまで使える数値計画法
- ・大学の理系学部等における障害のある学生の支援
- ・知財戦略を俯瞰する－技術経営から支援技術、知の構造化まで－
- ・教育・情報システム論文執筆ワークショップ
- ・情報爆発時代のデータベース
- ・センサネットワーク技術がもたらすデータベース技術の新展開と応用－
- ・電子市場構築技術とその応用
- ・HPCから組込みシステムまで、カスタムコンピューティングの世界
- ・人の居場所を探る－情報過多のネット時代における個性化現象－
- ・ロボットや機械とのコミュニケーション
- ・一人間らしさ、機械らしさとは？

【開催校企画：近未来技術と情報科学】

- ・次世代ロボット技術を展望する
- ・スポーツと情報技術
- ・中京大学ハイテク・リサーチ・センターの取組み
- ・クリエイティブな「ものづくり」を支えるスキルとテクノロジー

■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約(7/13迄)	当日
会 員	7,500円	8,500円
非会員	15,000円	17,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・CD-ROMが含まれております。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。
会員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK、KICS、KISS、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KISS、CSI）の個人会員に限ります。
非会員：上記の学会会員以外の方。
学生：会員/非会員を問わず無料（CD-ROMは付きません）。
社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■懇親会

開催日時：9月6日（木）18：00を予定
会 場：中京大学 豊田キャンパス 2号館1F 食堂
参 加 費：※すべて当日での受付（支払い）となります。

参加区分	懇親会参加費（税込）
社会人	5,000円
学 生	2,000円

■冊子講演論文集・CD-ROM販売価格（税込）

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	10,000円	15,000円
CD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、CD-ROM、セットカバーが付きます。

※CD-ROM学割会場販売価格2,500円。

■聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROMの申込み・送金方法

申込期限：平成19年7月13日（金）必着（電話予約は不可）
申込方法：FIT2007ホームページからお申込み頂くか、または「FIT2007聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROM申込書」に必要事項を御記入の上FAXにてお申込み下さい。

聴講参加事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総受付に御呈示下さい。

受取方法：講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送（10月上旬）」のいずれかを選択して下さい。

※CD-ROM（セット付属のものは除く）は、全て事前発送となります。

送金方法：申込後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。送金は以下のいずれかの方法をお願い致します。

(1)郵便振替で送金の場合：同封の郵便振替用紙をご利用頂くか郵便局備え付けの振替用紙に「口座番号00150-4-83484、加入者名 社団法人情報処理学会」を明記のうえ、通信欄に必ず「FIT2007、請求書番号、氏名」を明記のうえお振込み下さい。

(2)銀行振込みで送金の場合：振込人名を「FIT2007-請求書番号-氏名」として以下のいずれかの口座へお振込み下さい。

- ・みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 1013945
口座名義：社団法人情報処理学会
- ・三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 7636858
口座名義：社団法人情報処理学会

※振込みが完了されましたら、同封の「送金連絡票」に振込み情報を御記入の上、以下の申込先へFAXにてお送り下さい。

同封の郵便振込用紙でお振込の場合にはFAX返信は不要です。
※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんので御了承下さい。すべて振込をお願い致します。

送金期日：平成19年10月31日（水）

■申込先・問合先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
社団法人情報処理学会 事業部門
Tel. 03-3518-8373 Fax. 03-3518-8375
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

■講演論文集の内容（分野）

- ・情報科学技術レターズ：査読付論文（全分野）
- ・一般講演論文集：
 - 第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
 - 第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
 - 第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - 第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
- ・CD-ROM：上記全論文とプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）

■次年度のFIT2008開催

平成20年9月 慶應義塾大学にて開催予定

FIT2007 聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROM申込書

* 本用紙に必要事項を記入し、FAX (03-3518-8375) にてお申込み下さい。

[申込締切 7月13日(金) 到着厳守]

■聴講参加事前予約申込

参加区分	費用	該当に○を記入
正会員(参加章・プログラム・CD-ROM付)	7,500円	
非会員(参加章・プログラム・CD-ROM付)	15,000円	

■講演論文集・CD-ROM購入申込

御注文品目	価 格	部 数	金 額
セット個人・法人購入	57,000円		円
情報科学技術レターズ 個人購入	10,000円		円
情報科学技術レターズ 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第1分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第1分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第2分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第2分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第3分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第3分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第4分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第4分冊 法人購入	15,000円		円
CD-ROM 個人購入(全分冊・プログラム/事前発送)	8,000円		円
CD-ROM 法人購入(全分冊・プログラム/事前発送)	55,000円		円
小 計			円

合 計 (聴講参加事前予約+講演論文集・CD-ROM購入)			円
-------------------------------	--	--	---

お受取方法：(セットまたは分冊をお申込みの場合、御希望の方法に○を付けて下さい。)

1. 会場で受取
2. FIT終了後郵送(10月上旬)

申込者(送付先：品物・請求書・送金連絡票)：

会員区分：正会員 非会員 学生 [いずれかに○印を付けて下さい]

所属学会： 会員番号：

通信区分：自宅・勤務先 [いずれかに○印を付けて下さい]

住所：〒

勤務先名・所属名：

申込者： TEL (内線)

e-mail：

※CD-ROM(セットに付くCD-ROMは除く)は、FIT開催前の事前発送のみとなります。

※セットまたは分冊を御希望の場合には、受取方法を必ず御記入下さい。

※請求書の送付先は、品物の送付先と同一となります。

※聴講参加事前申込の方、講演論文集セットまたは分冊を申込まれ受取り方法を「会場で受取」にされた方へは、引換券をお送り致しますので、会場へお越しの際は必ず御持参頂き、FIT総受付に御呈示下さい。

※お支払いの際は、入金確認のために送金連絡票をお送り下さいますよう御協力をお願い致します。

※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人 材 募 集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として 21 世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT 分野の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム（FIT）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正 会 員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わる個人
学生会員：学校に在学中の個人
準 会 員：専門外の高校、中小学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人



他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

- 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。
2007 年 特集：安全と安心のための画像処理技術（1月号）、ICタグと医療環境（4月号）
連載：研究会千夜一夜、標準化よもやま話、グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術、他
- 電子図書館（BookPark）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 「連続セミナー」に会員価格（7,000 円お得）で参加できます。
時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2007 年度は「情報セキュリティ 2.0」をテーマに、6 回の開催を行います。
- ホットトピックスに対応する「シンポジウム」（5,000 円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。
ホットトピックス インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理
- 出版図書が会員割引で購入できます。
IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、等
- さらに、学生会員だけの特典です！
- 好きな研究会を 1 つ無料で登録できます。
- IPSJ Digital Courier (Volume3 まで) に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金がもらえます。

お問い合わせは、（社）情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出しく下さい】

宛 先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれから送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4806.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2007 年 6 月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a …大変参考になった b …よい c …普通, どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない]
 - 我が国の情報通信技術の強化に向けて 10-1-
特集: 非接触 IC カード技術とその展開 10-2-
 1. 非接触 IC カード技術の概観と展望 10-2-
 2. 1) 非接触 IC カード技術 FeliCa 10-3-
 2. 2) 携帯電話と FeliCa を融合したモバイル FeliCa 技術 10-4-
 3. 3) 非接触と接触両用 IC カードの実装技術と適用例 10-5-
 3. 1) 交通分野における IC カードサービス 10-6-
 3. 2) 非接触 IC カードによる金融系サービス 10-7-
 3. 3) 小売分野における非接触 IC カードサービス 10-8- - 特集: 教育用プログラミング言語と授業利用 10-9-
 1. 教育用プログラミング言語の動向 10-9-
 2. 情報教育におけるプログラミング利用の可能性 10-10-
 3. 情報科学教育への利用 10-11-
 4. 制御教育への利用 10-12-
 5. 情報教育における音楽の利用, 音楽教育における情報教育の利用 10-13-
 6. 教育用プログラミング言語を利用した教科教育と情報教育 10-14- - 観光情報システムの現状と展望 10-15- - モバイル端末のためのユーザインタラクション技術 (前編) 10-16- - 21 世紀の企業像と学生・若手研究者への期待 DICOMO2006 パネルディスカッション 10-17- - これからの情報処理学会: 若手が動かす学会へ 10-18- - これからの情報処理学会: 社会, 企業に影響ある研究を育てよう 10-19- - グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術: Web サービスセキュリティの最新動向 10-20- - 「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの: 情報化と社会制度の構築に関する研究 10-21- - 研究会千夜一夜: コンピュータと教育研究会 10-22- - 研究会千夜一夜: 人文科学とコンピュータ研究会 (CH) 10-23- - 標準化よもやま話: 国際標準化活動の光と影 10-24-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問, 今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

本特集の企画は2005年の春に持ち上がった。当時、FeliCaを搭載した携帯電話が各社から発売されるなど非接触ICカードがさまざまな業界で話題になっており、特集に値するとの判断であった。それから2年、通常の特集よりも長い編集期間を経て、ようやくこの特集を刊行することができた。

この2年の間に、非接触ICカード技術は単なる新規サービスから人々の生活を支えるインフラとして定着してきたように思われる。「非接触ICカードがあれば、財布がなくても過ごせる世界が来る」というキャッチフレーズは、2年前はサービス提供側の宣伝文句にすぎなかったが、現在では実際にそのような生活が可能となっている。かくいう筆者も、駅、コンビニエンスストア、会社の入場ゲート、本屋等で非接触ICカードは

10回近く利用するのに、財布を取り出すことは1回だけ、というような日が少なくない。

非接触ICカード関連サービスがこのまま発展していくのか、あるいはある程度の普及率で足踏みしてしまうのか、確実なことは分らないが、消費者は常に利便性を求めいったん得た利便性を手放すことはないという歴史を考えると、ある程度は楽観してよいのかもしれない。最後に、この特集では、この業界の第一線で活躍するメインプレイヤーの方々に原稿を執筆していただくことができた。エディタ自身も編集作業を通して多くのことを学ばせていただいた。改めてお礼を申し上げたい。

(小池雄一／本特集エディタ)

今回の特集では、子供のプログラミングに関する話題を取り上げました。コンピュータの利用法はさまざまですが、「自分で決めた手順で動かす」ことは重要なスキルの1つです。また、高校までにプログラミングという新しい世界を知ることは、進路を決める上で貴重な体験になり得ます。

一方、今回紹介した「手順的な自動処理」という考え方は、プログラミングに限らず、多くの学習で活用できる可能性があります。今回は「情報科学」「制御」「音楽」という3つの分野

について、小学校から高校までの現場の先生方と意見交換をしながら執筆を進めてもらいました。

その中で、コンピュータを使わない情報教育手法、ロボットという具体物を活用したプログラミング学習、音楽とプログラムの類似性といった、興味深いテーマが見えてきたように思います。ご協力いただいた多くの方々に感謝いたします。

(兼宗 進／本特集エディタ)

次号（7月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」情報セキュリティ研究開発の動向

情報セキュリティの研究開発の動向／ミクロな分析技術の動向／マクロな分析技術の動向／分析の結果に基づく対策技術の動向／ミクロとマクロの融合に向けて／セキュリティホールを作りこまない技術の動向／プライバシー保護のためのアーキテクチャ／プライバシー保護のための要素技術の動向

報 告

平成18年度論文賞の受賞論文紹介 平田圭二 他
第47回世界コンピュータ将棋選手権 伊藤毅志

解 説

モバイル端末のためのユーザインタフェース（後編）－入力対話技術－ 旭 敏之 他

連 載 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術／これからの情報処理学会／「情報学を創る」－科研プロジェクトがめざしたもの

コラム 研究会千夜一夜／標準化よもやま話

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。
権利委託先：(中法) 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ～ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体 裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 (株) 精機通信社 (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）(株) 精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48 巻 6 号 掲載広告（五十音順）

- ☐ インタフェース…………… 表 4 ☐ サイエンス社…………… 前付 3
☐ オーム社…………… 表 2 対向 ☐ 情報通信研究機構…………… 前付 2 下
☐ 講談社…………… 前付 2 上

☐ すべての会社を希望

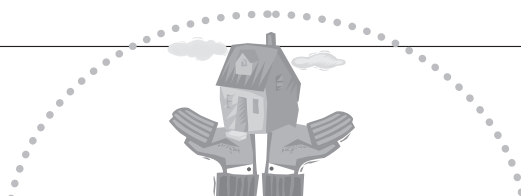
■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
	TEL ()	-	FAX ()
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **(株) 精機通信社**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel. (03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google™

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft®

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375